

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぱう

平成21年 7月25日
(2009年) 毎月3回5の日に発行

第1731号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 大竹 邦実
<http://www.si-gichokai.gr.jp>

市議会旬報

本会総会で議決の要望26件

理事会開き委員会に付託



あいさつする五本会長

「今後とも全国の市議会が一致団結し、これまでも増して強力に要望活動を展開していくことが必要」と訴え、理事に対し協力を求めた。

全国市議会議長会（会長 五本幸正・富山市議会議長）は7月15日、東京・全国都市会館で理事会を開催。副会長2人、部会長4人の役員補欠選任を行うとともに、5月の定期総会で議決された26件の要望事項を所管の委員会にそれぞれ付託した。

五本会長は会議冒頭、政府の地方分権改革推進委員会がこの秋にもまとめる第3次勧告について、柱となる地方税財政改革に「地方の意見が十分に反映されることが何よりも重要」との考えを示し、要望実現に向け、政府・国会に対し強く訴えていく決意を述べた。

また、市議会議員年金の厳しい財政状況を打開するため

「26件の要望事項の取り扱いについて協議。地方行政など5委員会にそれぞれ付託した」付託事項は2面に掲載。各委員長からは、これらの付託事項等を要望書に盛り込

21年度特別委が始動

委員長に佐々木・北九州市議長



会議出席の理事



委員長 佐々木健五
(北九州市議会議長)

本会の地方分権改革・道州制調査特別委員会が7月15日、平成21年度の初会議を開催。委員長に佐々木健五・北九州市議会議長を選任したほか、副委員長に大館恒夫・八戸市議会議長、加賀谷正美・秋田市議会議長、蒲建一・高山市議会議長を選任した。

置かれた機関。内閣府に置かれている地方分権改革推進委員会等に、本会の意見を反映させるため活動している。政府の分権委は今秋にも、第3次勧告を行う予定としており、まさに21年度は正念場の年となる。

分権委の勧告を受け、政府は「地方分権改革推進計画」を作成。この計画に基づき、22年1月に幕を開ける通常国会へ分権一括法案を提出する予定としているため、本会としても政府の分権委に対し、精力的に地方の声を届けていく必要がある。

【21年度の委員】
委員長 北九州市 副委員長 八戸市、秋田市、高山市
委員 釧路市、苫小牧市、滝川市、盛岡市、二本松市、福井市、鯖江市、飯田市、羽村市、前橋市、富士市、牧之原市、豊橋市、高槻市、寝屋川市、摂津市、高石市、神戸市、松江市、岩国市、徳島市、丸亀市、大洲市、鳥栖市、大分市

み、22年度政府予算編成に向け関係方面に実行運動を行う旨の活動方針が述べられた。このほか、議長交代により欠員となっていた副会長2人、部会長4人の役員補欠選任を行った。副会長兼北信越部会長に松山俊弘・福井市議会議長、同じく副会長に今井昭男・宇都宮市議会議長、東北部会長に佐藤栄一・盛岡市

本会の特別委員会では、政府の分権委の動向や、地方分権改革を巡る政府・国会などの状況に注視しながら、必要に応じ委員会または正副委員長会議などを開催し、真に地方が望む地方分権改革の実現を目指していく。

当日は、総務省の久元喜造・自治行政局長が「当面の地方行政の諸課題」について講演。第29次地方制度調査会がまとめた答申や、住民基本台帳法の一部を改正する法律の概要などを説明した。

議事人事

議長	金子修一(5・19)	泉佐野	戸野茂(5・21)	栗東	太田利貞(5・29)	伊丹	川上八郎(5・19)
平塚	渡邊孝一(5・19)	高石	北山保(5・21)	橋本	中西峰雄(5・29)	大館	仲沢誠也(5・20)
矢板	高橋節子(5・19)	福知山	松本良彦(5・21)	大牟田	西山照清(5・29)	福島	須貝昌弘(5・20)
北本	吉田隆一(5・19)	宇治	松本茂(5・21)	東村山	川上隆之(5・30)	藤沢	橋本美知子(5・20)
名古屋	前田桂之助(5・19)	宝塚	村上正明(5・21)	調布	大須賀浩裕(6・1)	相模原	菅原康行(5・20)
熊野	林政安(5・19)	宇部	坂出	知多	竹内司郎(6・1)	牛久	石原幸雄(5・20)
岐阜	中西康浩(5・19)	千代田	藤井清久(5・22)	本庄	堀口勝司(6・2)	飯能	砂長恒夫(5・20)
中津川	榎本正勝(5・19)	貝塚	新川節雄(5・22)	加西	後藤千明(6・2)	西尾	田中弘(5・20)
枚方	野々下重夫(5・19)	新宿深沢	高林一文(5・25)	吹田	山本力(6・2)	池田	川西二郎(5・20)
門真	寺前 稷(5・19)	浜松	宮田政敏(5・25)	深谷	高田博之(6・2)	西尾	田中 弘(5・20)
京都	繁 隆夫(5・19)	田辺	松原静雄(5・25)	鎌ヶ谷	友野ひろ子(6・4)	飯能	石原幸雄(5・20)
伊丹	岡本廣行(5・19)	筑紫野	池ヶ谷富士夫(6・4)	喜多方	東條貞一郎(6・4)	相模原	菅原康行(5・20)
大館	石田雅男(5・20)	東大和	堀川幸志(5・26)	清瀬	友野ひろ子(6・4)	牛久	石原幸雄(5・20)
福島	大越明夫(5・20)	江東	堀川幸志(5・26)	池ヶ谷	友野ひろ子(6・4)	相模原	菅原康行(5・20)
藤沢	山口幸雄(5・20)	目黒	今井れい子(5・26)	武蔵野	島崎義司(6・5)	飯能	砂長恒夫(5・20)
相模原	岸浪孝志(5・20)	北	平田雅夫(5・26)	日置	成田 浩(6・4)	飯能	砂長恒夫(5・20)
牛久	根本洋治(5・20)	江戸川	須賀精二(5・26)	川崎	潮田智信(6・5)	飯能	砂長恒夫(5・20)
飯能	加浦弘貴(5・20)	善通寺	我部山耕造(5・26)	川越	中原秀久(6・5)	飯能	砂長恒夫(5・20)
西尾	山田慶勝(5・20)	墨田	坂下 修(5・28)	東松山	榎本 栄(6・5)	飯能	砂長恒夫(5・20)
豊中	飯田武丸(5・20)	品川	本多健信(5・28)	副議長		飯能	砂長恒夫(5・20)
池田	吉本光夫(5・20)	大津	武田平吾(5・28)	平塚	鈴木晴男(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
高槻	源久忠仁(5・20)	中央	石島秀起(5・29)	矢板	守田浩樹(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
守口	上田 敦(5・20)	渋谷	松岡定俊(5・29)	北本	加藤勝明(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
八尾	垣内博美(5・20)	杉並	富本 卓(5・29)	名古屋	伊神邦彦(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
荒尾	島田 稔(5・20)	足立	鴨下 稔(5・29)	熊野	下田克彦(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
札幌	福士 勝(5・21)	横濱	川口正寿(5・29)	岐阜	中尾年春(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
新潟	志田常佳(5・21)	小田原	志澤 清(5・29)	中津川	今井 誠(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
世田谷	川上和彦(5・21)	春日部	河井美久(5・29)	寝屋川	広瀬慶輔(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
真岡	白滝 裕(5・21)	越谷	野口佳司(5・29)	門真	山本 純(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)
伊勢崎	須永武久(5・21)	蓮田	山崎享一(5・29)	京都	安孫子和子(5・19)	飯能	砂長恒夫(5・20)

田辺 塚 寿雄(5・25) 本庄 広瀬伸一(6・2)

筑紫野 尾野正義(5・25) 深谷 三田部恒明(6・2)

東大和 尾崎信夫(5・26) 吹田 神保義博(6・2)

江東 柴田幸雄(5・26) 加西 繁田 基(6・2)

目黒 鴨志田り工(5・26) 大阪 奥野正美(6・3)

北 小池たくみ(5・26) 喜多方 齋藤勲(6・4)

江戸川 田中淳子(5・26) 清瀬 久世清美(6・4)

善通寺 長谷部一成(5・26) 鎌ヶ谷 土屋裕彦(6・4)

大津 堀井幸男(5・28) 富里 猪狩一郎(6・4)

中央 植原恭子(5・29) 西予 菊地三入(6・4)

枚方 古川斗記男(5・29) 日置 佐藤彰矩(6・4)

杉並 島田敏光(5・29) 武蔵野 田辺あき子(6・5)

八尾 田中裕子(5・20) 川崎 嶋崎嘉夫(6・5)

岡山 伏見源十郎(5・20) 川越 新井金作(6・5)

荒尾 百田才太(5・20) 東松山 吉田英三郎(6・5)

札幌 宮村素子(5・21) 事務局長

新潟 佐藤幸雄(5・21) 水戸 飯田克雄(4・1)

真岡 布施 實(5・21) 堀口勝司氏(本庄市議会議長)

伊勢崎 吉山 勇(5・21) 7月10日、急性心筋梗塞により逝去。71歳。葬儀は7月12日、本庄市内で執り行われた。喪主は長女、堀口伊代子さん。

堺 高岡武汪(5・21) 秋田 鈴木忠文(5・30)

泉佐野 奥野英雄(5・21) 東村山 鈴木忠文(5・30)

高石 松尾京子(5・21) 大牟田 小野 晃(5・29)

福知山 仲林清貴(5・21) 橋本 中本正人(5・29)

宇治 水谷 修(5・21) 橋本 小野 晃(5・29)

宝塚 石倉加代子(5・21) 秋田 鈴木忠文(5・30)

笠岡 森岡聡子(5・21) 調布 鈴木忠文(5・30)

宇部 兼広三朗(5・21) 知多 向山孝史(6・1)

坂出 植條敬介(5・21) 山口県防府市に

豊中 中蔵 功(5・22) **災害救助法が適用**

貝塚 森美佐子(5・22) 7月21日に降り注いだ大雨の影響により、山口県防府市では多数の住民が被害を受けたほか、今後も災害の発生が

藤井寺 花岡信子(5・22) 懸念されている。住民は避難し、継続的に救助を必要とする事態に陥った。

新宿 小松政子(5・25) このため山口県は、災害救助法を7月21日から防府市へ適用し、住民に対して必要な措置を講ずることとした。

浜松 立石光雄(5・25)

公営交通議長会が総会

要望まとめ関係各方面へ

全国公営交通事業都市議長会(会長 松井久美子・明石市議会議長)は7月16日、東京・全国都市会館で第76回総会を開き要望をまとめた。要望の柱は「経営基盤の強化」「地域住民のバス路線維持及び生活交通確保」など。

要望事項の実現を図るため翌17日、松井会長は、柳谷昭次郎・副会長(苫小牧市議会議長)、岡本廣行・副会長(伊丹市議会議長)とともに、谷口和史・国土交通大臣政務官らに面談。市の一般会計から、多額の繰り入れを余儀なくされている公営交通事業に対し、配慮を求めた。

路面電車やバスなど、市民の足として欠かせない公営交通事業が、厳しい経営状況に陥った時期は昭和40年代にまで遡る。路面電車事業では、41年度に全事業が赤字化。バス事業も40年代後半以降、バス離れが加速化し、困難な経営を強いられている。

しかし、高齢者や身体に障害を抱える者など交通弱者にとって公営交通路線は、まさに生命線。民間事業者は採算性のみに徹することが可能だが、自治体は市民にとって必要であれば、不採算が見込まれても撤退できない。自治体の経営努力だけでは解決し得ない問題だけに、国による抜本的解決が望まれる。

なお、総会では、総務省の井上亘也・公営企業経営企画室長、国土交通省の黒須卓・地域交通政策企画官が、所管事項について説明した。



総会であいさつする松井会長(右)は講師の井上空長(総務省)

日本全国「ご当地のヒミツ」

フリーライター 永浜敬子 《3》

栃木県の巻

「日光には行ったことがあるけど、栃木は行ったことがない」と言う人が少なくない

と、知事が嘆くほど、知名度・認知度の薄い栃木県。日経

時の話題



しかし、高齢者や身体に障害を抱える者など交通弱者にとって公営交通路線は、まさに生命線。民間事業者は採算性のみに徹することが可能だが、自治体は市民にとって必要であれば、不採算が見込まれても撤退できない。自治体の経営努力だけでは解決し得ない問題だけに、国による抜本的解決が望まれる。

リサーチが行った地域ブランド調査では47位と、全国最下位という残念な結果まで出てしまった。

しかし、フタを開けて、よくよくのぞいてみると、面積は関東ナンパーワン、いちごやかんびょうの生産はダントツ1位、世界遺産・日光東照宮や那須には御用邸までであるなど、なかなかあなだれない実力県なのだ。牛の数も多く、土地の広さと規模の大き

さで1位は北海道に譲るとしても、本州では近年生乳生産はトップをキープしているのだ。牧場も多く、アイスクリームもおいしい。



谷口政務官(左から2人目)と面談する実行運動班

各市のニュースを募集

「全国市議会旬報」では、各市のニュースを募集しています。全国の自治体の中でも先進的な取り組み、ユニークな条例、自慢のイベント、地域のお祭りなど、お寄せいただく情報のジャンルは問いません。ご提供いただいた情報につきましては、本紙編集担当職員が記事を作成し、議会ニュースあるいは市政ニュースとして紙面で紹介いたします。本紙をPRの場として活用されてみてはいかがでしょうか。(問合せ先) 全国市議会議長会 調査広報部 旬報担当 松下・塩田まで ☎03 3262 2309

行事予定

8月24日 全国市議会議長会 正副会長会議(午後4時、宇都宮市)
9月1日 全国市議会議長会 役員市事務局局長会議(午後2時半、全国都市会館)

のだ。

宇都宮の餃子、佐野のラーメンのようなエリア限定ではなく、全県くまなく焼きそば屋が多いのが特徴だ。大きく分けて、県南エリアがじゃがいも入り焼きそば、県央エリアがソース味の宇都宮焼きそば、そして県北エリアは、ス

「ポテト」「いも串」という名前でも、知られている。最近、メキメキと知名度を上げていっているのは、レモン牛乳だ。黄色のレモン味の甘い乳飲料。一時、メーカーの廃業で姿を消したことがあったが、「もう一度飲みたい」というユーザーの熱い声に促されて、他の企業が継承して晴れて復活!今では生産するメーカーも増え、駅の売店でも堂々と目立つところに鎮座するようになった、古くて新しい栃木の味だ。